

立川市教育だより

# たっち

●今号の主な内容  
2面 … 令和2年度教育委員会の主要な事業/学校閉庁日のお知らせ  
3面 … 若葉台小学校新校舎の建設工事/第一小学校は創立150周年を迎えました  
4面 … 第一小学校のチームが宇宙エレベーターロボット競技会にて全国3位/立川市の歴史と文化財

編集・発行/立川市教育委員会  
〒190-8666 立川市泉町1156-9  
☎042(523)2111(市役所代表)  
立川市ホームページ  
<https://www.city.tachikawa.lg.jp/>



たっちの発行は年3回です。次号の発行は令和2年11月10日です。

## 新しい学びが始まります。



学習指導要領が改訂され、小学校では今年度から、中学校では来年度(令和3年度)から全面实施されます。今回の改訂の基本的な考え方を紹介します。

● 図指導課・2134

## 子どもたちが未来社会を切り拓くための資質・能力をより一層確実に育成する

今回の改訂では、グローバル社会の進展の中、子どもたちが主体的に考え、その考えをクラスの間と共有し、自分の考えをさらに深める学びが大きな柱となっています。今般の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う対応のため、学校の休校が長期化し、子どもたちは様々な我慢を強いられることとなりました。学校教育では、この子どもたちの体験を今後の学びに生かしていきたいと考えています。例えば、ウイルスに関することは理科で、また安全や衛生に関することは家庭科や保健体育で、過去の感染症にどう対応してきたかは社会で、そして何より自分を大切にすることはもちろん、家族や地域や社会の自分以外の人々のことを思いやる心は道徳

## 児童・生徒のみなさん、保護者のみなさまへ

立川市の児童・生徒のみなさん、新型コロナウイルス感染症対策のために、学校に行けない日々が続く、友達や先生に会えず、さびしい思いをさせてしまいましたね。

このような中、保護者や地域の大人のみなさんも、一日でも早く、みなさんが毎日楽しく学校に通えるように、たくさんの取組をしてきました。子どもから大人まで、全ての人が気持ち一つにして、自分ができることをしっかりと取り組んできた結果、6月1日から少しずつ、学校に登校できる日を増やせるようになりました。

たくさんのがまんをしたこの3か月、自分ができることを積み重ねてきた3か月、この経験は、必ずみなさんの力となり、未来につながります。

しかし、新型コロナウイルス感染症が収束し

たわけではありません。その対策は、これからも続きます。感染症を増やさないために、自分ができる行動をとればいいのか、一人ひとりがしっかりと考え、判断し、やさしい気持ちを忘れずに、がんばっていきましょう。立川市教育委員会は、学校と一緒にみなさんをこれからも応援していきます。

児童・生徒の保護者の皆様方におかれましては、収束の日がいつになるか先の見えない日々の中、大変な毎日をお過ごしのことと存じます。この度、6月から学校における感染およびその拡大のリスクを可能な限り低減しつつ、段階的に実施可能な教育活動を再開しております。引き続き児童・生徒の安全と健康を第一に考えながら取り組んでまいりますので、ご理解、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

立川市教育委員会

で、様々な学びの中で生かしていきたいと考えています。このような教科横断的な学びは、新学習指導要領のもう一つの大きな柱にもなっています。この学び方は、本市の学びの大きな柱である未来の市民を育成する「立川市民科」の中でも取り組んでいます。子どもたちが実際に地域に出かけ、課題を見付け、仲間と学び合い、その学びを教科の学習の中で生かしていく取組は、多くの地域の皆様方の支援が必要となります。そこで本市では平成31年度より全小中学校がコミュニティ・スクールとなり、保護者や地域の皆様方

教職員等で組織される学校運営協議会で、子どもたちの学びを支援する手だてについて熟議を重ねています。そしてここで決まった方向性の具現化に向けて、地域学校コーディネーターを中心とする地域学校協働本部の多くの皆様方が活躍してくださっています。

立川市の子どもたちが、思いやりの心を大切にして「生きる力」を醸成し、より良い地域づくりに向け、学びを深められるよう、今年度も学校と地域が一体となって取り組んでまいります。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。



中学校での地域の体験学習



中学生の小学校運動会への参加

